2026年1月1日現在

登録番号　第　20695　号

パッチコロン®水和剤

特長：	●芝の葉腐病、ダラースポット病に高い効果を示します。本剤はリゾクトニアの他、担子菌類及び不完全菌類の多くに、抗菌活性を示します。 ●殺菌作用が強く、植物への浸達性に優れているので、治療効果も発揮します。 ●根部より吸収されて、すばやく地上部へ移行する性質がありますので、散布時未展開だった上位葉の発病も抑えます。 ●日本芝はもちろん、寒地型芝にも安心して使用できます。通常の使用量では、薬害の心配はありません。

パッチコロンは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	シメコナゾール・・・20.0%	包装	250g×20
その他化管法該当成分	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基C＝10～14及びその混合物）（化管法1種）・・・1.2%		
性状	類白色水和性粉末45μm以下	有効年限	4年
毒性	普通物※	危険物	―

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シメコナゾールを含む農薬の総使用回数
日本芝	葉腐病（ラージパッチ）	4000倍	0.5L/㎡	発病初期	4回以内	散布	4回以内
		2000倍	0.25～0.5L/㎡				
		800倍	0.2L/㎡				
	疑似葉腐病（春はげ症）	2000倍	0.25L/㎡	休眠期前			
		800倍	0.2L/㎡				
	カーブラリア葉枯病 立枯病（ゾイシアデクライン）	800倍	0.2L/㎡	発病初期			
西洋芝（ベントグラス）	葉腐病（ブラウンパッチ） ダラースポット病	2000倍	0.25L/㎡	発病初期	4回以内	散布	4回以内
	炭疽病		0.5L/㎡				
樹木類	うどんこ病	2000倍	200～700 L/10a	発病前～発病初期	5回以内	散布	5回以内

使用上の注意事項

(1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
(2) 水溶性パック入りの製剤を使用する場合には、次の事項に注意すること。
　1) 濡れた手でパックに触らないこと。
　2) 外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、出来るだけ速やかに使い切ること。
　3) 薬液の調製は容器内に所定量の水の3分の1程度を入れた後、必要量の内袋を開封せずにそのまま容器内にする。その後、よく攪拌しながら容器内に水を定量まで加える。

(3) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
(4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

(1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
(2) 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
(3) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

(1) 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。
(2) 水溶性フィルムで包装した製剤は、吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を堅く閉じて保管すること。